

必修化になる小学校英語において 地域の人材としてどのように支援できるか

J T L の会（代表者：名合 智子）

● 研究の目的

平成23年度より小学校5・6年生の外国語活動が必修化になりました。学級担任が主体となり一人で大部分担当しますが、時にA L Tと時にJ T L（地区の英語の得意な人材）と二人体制で教えることになっています。しかし、外国語活動に関して、担任教師は様々な悩みを抱えているようです。

- ①英語の発音に不安がある
- ②A L Tとの人間関係
- ③コミュニケーションを児童に見せる相手がほしい
- ④丁寧に分かり易く指導できるサポートがほしい
- ⑤ゲームなどのアイデアを提案してくれる人がほしい
- ⑥教材がない

こうした担任教師に対して教育委員会から派遣されるA L T（Assistant Language Teacher）の存在はとても大きいようです。相対的に児童はA L Tのハイテンションな授業を好む傾向にありますが、担任教師にとっては次のような問題点もあります。

- ①意志の疎通ができない
- ②打ち合わせ時間がとれない
- ③子どもへの指導が徹底出来ない
- ④A L Tはゲーム・歌などについてよく知らない

そこで地域で英語の得意な人に声をかけてJ T L（Japanese Teachers of Language）の会を設立し、小学校に仲間を派遣して小学校担任教師をきめ細かくサポート出来るのではないかと考えました。J T Lの会では定期的に講師の先生を招き勉強会して、研鑽を重ね、いつ小学校から要請があっても対応できるように準備しています。ベネッセ教育研究助成をいただいたことを機会に、外国語活動の授業でどのようにJ T Lが支援出来るか、岡山市内のある小学校で実践授業をして実態を研究し、検証を試みたものである。

● 研究の経過

ある小学校の6年生担任の協力を得て「英語ノート2」を使って、1学期間二人体制の授業を4回実施しました。Book 2のレッスン2と3のレッスンプラン（それぞれ2時、3時）を別に添付しています。担任教師の希望で2時の練習と3時の発表の手伝いをすることにしました。理由は担任は練習させるのが苦手であることと、発表で子どもに細

6年生 英語ノートプラン	6年生 英語ノートプラン	6年生 英語ノート2プラン	6年生 英語ノート2プラン
Lesson 3 友達の日を祝おう When is your birthday? 2時目	Lesson 3 友達の日を祝おう When is your birthday? 3時目	Lesson 4 出来ることを紹介しよう 2時目	Lesson 4 出来ることを紹介しよう 3時目
流れ ウォームアップ	流れ ウォームアップ	流れ ウォームアップ	流れ ウォームアップ
児童と教師の活動と教師の支援 ① T1によるあいさつ。How are you? と何人かに聞く。 ② 外部講師の紹介・あいさつ	児童と教師の活動と教師の支援 ① T1によるあいさつ。How are you? と何人かに聞く。 ③ スポンジボールゲーム	児童と教師の活動と教師の支援 ① 外部講師を紹介 ② T1によるあいさつ。How are you? と何人かに聞く。 ③ スポンジボールゲーム	児童と教師の活動と教師の支援 ① T1, T2 お互いにあいさつ ② T1によるあいさつ。How are you? と何人かに聞く。 ③ スポンジボールゲーム
Introduction	Introduction	Introduction	Introduction
①月の言い方のチャンプで英語らしいリズムに慣れる。 ②日付の言い方の説明。カレンダーを用意。 時に序数の言い方を丁寧に練習する。	①月の言い方を T1 と一緒にチャンプで英語らしく言う練習。 ②T1と一緒に今日の自分を書く練習。 毎に序数の言い方を丁寧に練習する。 ③日付の誕生日の言い方を復習 My birthday is May 3th. ④全体→グループ→個人と行う流れで自分の誕生日を言う練習をする。	①じゃなくでチャンプ ②カードで本時の単語を紹介 ③はえたきゲーム	①復習 Let's chant ②全体→グループ→個人でチャンプをする
Practice	Practice	Practice	Practice
① My birthday is May 3th. 自分の誕生日の言い方を練習する。 ②全体→グループ→個人と行う流れで自分の誕生日を言う練習をする。	① T1 と一緒に今日の自分を書く練習。 毎に序数の言い方を丁寧に練習する。 ② 12 から英語の序数として文字の名前と音が入ることを聞く。例 J, M, S, N ③ スクリーンを見て、順番しながら口に入るかを全員で考える。 ④ クラージュを削いで書き込む。	①カードを見せで表現の言い方練習。 ② CD を聞いて英語ノート p.26 の動作の絵を指で指す。 ③ ジェスチャーゲーム：先生（T1）のジェスチャーを見て何の動作か答える。	① T2 は From Head to Toe の絵本を読む。 Can you do it? Yes, I can. の表現に慣れ親しむ。 ② 全体→グループ→個人と行う流れでカードを見て表現する練習。 ③ 先生（T1）に p.27 の動作が出来かどうか尋ねる。T1 はジェスチャーをしながら答える。
Practice	Practice	Practice	Practice
①家族の構成員についてサザエさんのポスターを使って紹介。 ②構成員の言い方の練習。 ③キーワードゲーム	① T2 は T1 に When is your birthday? と聞き答える。 又、反対に T1 は T2 に聞き答える例を見せる。 ②全体→グループ→個人と Q & A の練習。 ③今から Activity ② をすると伝える。T1, T2 で例を見せる。その後ササエさんと1を削いで母の誕生日の半歩を歩き回り友達と会話をしながら書き込む。 T1 Hello! How are you? T2 I'm fine, thank you. And you? T1 I'm good. When is your birthday? T2 My birthday is August 3th. When is your birthday? T1 My birthday is May 13th. T1, T2 I thank you. Bye.	① T1, T2 でそれらが出来るかどうか聞く。p.26 ②全体→グループ→個人に分かれて Q and A の練習。 全体、グループの時 T2 はカードを指す。	①全体→グループ→個人に分かれて Q and A の練習。 T2 はカードを指す。
Let's Listen	Let's Listen	Activity	Activity
① Kmを中心にまず家族の構成について名前も含めて確認する。 ② Family Tree の周りに見える誕生日の言い方も確認する。 ③ CDを聞いて番号を入れていく。 人ずつ CD を始めて分かっているかどうか確認しながら進める。	① T1 は何人と話したか、同じ月の人がいたかどうかチェックする。 ②振り返りカードに記入	①お隣のお友達と出来ること出来ないことを聞いて（ ）に名前を書き、口には○を書く。	①親類を歩き回り出来る人の名前を（ ）の中に書く。 ② T1 は何人の人と話したかチェックする。
振り返り	振り返り	振り返り	振り返り
① T1 の方から振り返りの音楽 ② Good-bye Song	① T1 の方から振り返りの音楽。 ② Good-bye Song ③振り返りカードに記入する。	① T1 の方から振り返りの音楽。 ② Good-bye Song ③振り返りカードに記入する。	① T1 の方から振り返りの音楽。 ② Good-bye Song ③振り返りカードに記入する。

かく内容までコメントしてほしいとの強い要望によるものです。実践のあと子どもにアンケートをとり文章での授業の感想も聞きました。また、二人体制の授業を共に実施した担任教師からの感想も聞きまとめました。

1) 子どものアンケート

結果は下記のようになっている。

- 1, 自信を持って英語を声に出せましたか？
(5～1までの番号に○をしてください。5の方がよくしたことになります。)
5→37% 4→36% 3→20% 2→4% 1→3%
- 2, お友達と進んでかかわりましたか？
5→46% 4→31% 3→11% 2→6% 1→6%
- 3, 日本語と外国語の違いについて気付きがありましたか？
5→55% 4→42% 3→1% 2→1% 1→1%
- 4, 外国語の授業は楽しかったですか？(まるで囲んでください)
①とても楽しかった 75% ②楽しかった 22%
③あまり楽しくなかった 2% ④楽しくなかった 1%
- 5, 担任の先生一人と、JTLの先生と二人の授業では分かりやすさや楽しさはどうでしたか？
(下に文章で理由も書いてください。)
☆JTLの先生はとても分かりやすかった。難しい英語の発音も何度も繰り返してもらったのでよく分かった。
☆二人の方が分かりやすかった。
☆担任だけよりも他のことがたくさん出来て楽しかった。
☆JTLの先生はポスターとか持ってきてくれてよく分かった。
☆二人の先生が、みんなが分かるように手分けしていたから良かった。
★全然楽しくなかった。(1名)

2) 担任教師よりの感想

担任教師より寄せられた感想は次のようなものです。

☆発音についてゆっくりと口形なども示しながら、児童の必要に応じて何度も繰り返して見せていただけたので、分かり易かった。

☆発音や表現の児童のつまずきを見取り、必要に応じて的確にフォローしてもらえた。

☆児童が興味を持って取り組める教材を準備してくださり、「英語ノート」だけでなく暮らしに溶け込んだ学びができた。

☆クラスルームイングリッシュなどをどのような場面でどのように使えばよいか教師自身のモデルともなり、JTLのいない授業で取り入れたい。

3) 研究の成果と課題

実践研究の成果として、子どもや担任教師の感想にも見て取ることが出来るように、JTLは発音面で口形を見ることができたり、子どものニーズに応じて何度も繰り返したり子どもが納得するまで指導できることが分かった。また、「英語ノート」だけでなくいろいろな教材や歌・ゲームを紹介して授業に幅を持たせることが出来た。後に担任教師が単独で教える場合の教室英語のモデルを提供出来る事実も判明しました。何よりも二人体制の場合、より多くの子どもへのサポートが出来ることを検証できました。付け加えてJTLの教師たちは海外留学あるいは滞在の経験を持ち海外の話を聞かせることにより多文化理解の授業にも大きく貢献できます。

このようにJTLは学級担任にとって有効な存在であり、子どもにも良き学びの場を提供できることが実証出来ました。今後は、JTLの存在価値をひろく広報し、自治体の理解を得て、有償ボランティアの制度の構築をすすめていくことが課題としてあげられる。

(執筆：名合智子)

<参考文献>

『学習指導要領の小学校外国語活動の目標を達成するための144の活動集』著者 松香洋子・野田まゆみ 出版社 mpi

<共同研究者>

岡崎 和子・島崎 早苗